

仮象のはるいろそらいちめん

ただやみくもの因果的交流電燈

明るく明るく明るく灯ります

WATERMELONの電気石音と言語の交差点

ますます色彩過多の世界にて

七つの櫻が追い越した

わたしめがけて追い越した

ふうけいより先にわたしはなく

わたしより先にふうけいはなく

追いかけて追いつきいなくなる

ふわふわとつつまれ世界は消えていく

ふわふわの櫻の森で世界が鳴った

美しい音色で世界が鳴った

それが虚無ならば虚無自身がこのとほりで

ある程度まではみんなに共通いたします

すべてがわたくしの中のみんなであるやうに

みんなのおのおののなかのすべてですから」

